

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Gene-based therapy of malignant melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ22-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ V ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Semin Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	29	
	号	5	
	ページ	503-12	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2002 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Schadendorf D	ドイツ癌研究所
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	メラノーマに対する遺伝子治療をレビューする
	データソース	記載なし
	研究の選択	記載なし
	データ抽出	記載なし
	主な結果	遺伝子治療の基礎的戦略として 1) サイトカインなどの免疫刺激物質や CTL に認識されるメラノーマ関連抗原を腫瘍細胞に遺伝子導入して、腫瘍細胞の免疫原性を高める、2) シグナル伝達経路を阻害する 3) 自殺遺伝子を導入する などがある。
	結論	近年の若干の進歩はあるが、遺伝子治療はまだ実験的な治療であり、臨床応用にはさらに長い年月が必要である。
	備考	主に欧州における基礎的・臨床的研究のレビュー
レビューワーコメント	レビューワー氏名	高田 実
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ V ） 文献データ抽出の方法が記載されていないが、現時点でのメラノーマに対する遺伝子治療の基本的事項は網羅されている。